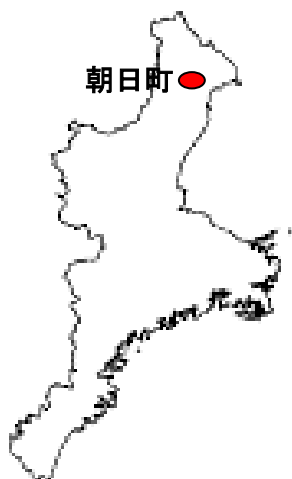


■ 町の概要



本町は三重県の北部に位置し、北東に員弁川・丘陵をもって桑名市に、西南は丘陵・朝明川を隔て、四日市市に隣接し、南東は川越町に続き伊勢湾を望む県内で最も小さな町です。

概ねJR関西本線を境に平地60%、丘陵地40%に区分され、平地には水田、丘陵地には標高約90m以下の山林が存在します。

町内には旧東海道、国道1号が縦断し、伊勢湾岸自動車道みえ朝日IC、北勢バイパスのジャンクションが存在し、鉄道ではJR関西本線、近畿日本鉄道名古屋本線の2つの駅を有しています。

◆面積 5.99km²

◆位置 東経136度39分52、北緯35度2分3

◆役場への案内図



■ 町 章



朝日の「ア」を三つ重ね合わせ「アサ」を表し、外円は太陽を図案化したものです。

(昭和39年7月24日決定)

■ 町の宣言

- *交通安全の町 (昭和37年 1月26日議会可決)
- *青色申告の町 (昭和48年9月26日議会同意)
- *青少年健全育成の町 (昭和58年 3月16日議会可決)
- *非核平和の町 (昭和60年12月25日議会可決)
- *納税振替・期限内納税の町 (昭和61年 6月16日議会可決)
- *ゆとり宣言 (平成 4年 6月24日議会可決)
- *人権尊重の町 (平成 5年 6月23日議会可決)

■ 町のあゆみ

明治22年4月1日、町村制施行により、縄生・小向・柿・埋縄の四カ村が合併し「山添村」と名づけましたが、村用係(当時の村会議員)たちが将来の発展性に乏しいとして「朝明村」にするよう申請しました。しかし、郡長は郡名と同じであるとして許可されず、坂部(現四日市市)の国学者に相談したところ、天武天皇が迹保(とほ)川を越て、縄生、小向のあたりで朝日を拝まれたという故事にあやかり「朝日村」が誕生しました。

明治29年には郡廃止令により、三重郡(18村)と朝明郡(11村)の二郡を廃止し、その区域を三重郡と改正して三重郡役所が四日市に置かれ、朝日は三重郡に属することになり、昭和29年10月17日、町制施行により現在の「朝日町」となりました。(当時の人口は5,012人、世帯数1,004世帯でした。)

古くは尾張・三河への戸船場として栄え、後に東海道沿いに街村として発達し昭和3年には伊勢電鉄(現在の近畿日本鉄道)、昭和7年には国道1号が開通、昭和13年には芝浦製作所(現在の東芝三重工場)の誘致があり、高度成長と共に経済的・文化的にめざましく発展し続け、その後も日立金属(株)の工場進出をはじめ中小企業が増加し、工業の町として発展してきました。

昭和58年には国鉄関西本線(現在のJR)朝日駅が設置され、平成15年には伊勢湾岸自動車道みえ朝日インターの開設、北勢バイパスの一部開通により、交通の利便性は極めて向上しました。また丘陵地の住宅開発に伴い「白梅西」「向陽台」「白梅東」の新たな自治区が誕生するなど人口が飛躍的に急増し、継続的な町の発展に大きな期待がかけられています。

■ 町のCI

CI: (コーポレートアイデンティティ) 特徴や理念を体系的に整理し簡潔に表したもの

◆ 町の木 「白梅」

昭和55年、第31回全国植樹祭の記念事業の一環として行われた「市町村の森」への町の木植栽に先立ち、町民公募を参考にして検討し町議会協議会で協議した結果「白梅」に決定しました。



選定理由

かつて町内柿地区には近隣の名声を高めた梅林もありました。また白梅は多くの花に先駆け春の到来を告げる事や気品・清雅さとともに抵抗力があり、力強い花木である事から、明日の朝日町を象徴するにふさわしいという事で選定されました。

(第31回全国植樹祭を記念し、平成54年5月4日決定)

◆ 町の鳥 「うぐいす」

平成6年、町制施行40周年記念事業の一環として、新たなまちのCIを制定し、町のイメージアップを図るため、一般公募し選考委員会で協議した結果「うぐいす」に決定しました。



選定理由

春の訪れとともに、朝日町の丘陵地では梅の開花を迎え、うぐいすがさえずる美しい声を聞く事ができます。このような自然をいつまでも残す願いを込め、自然を愛する心と風流をも感じられるゆとりある文化的な町を象徴するにふさわしいという事で選定されました。

(平成6年10月7日、町制40周年記念式典にて発表)

◆ 町の花 「ひまわり」

平成6年、町制施行40周年記念事業の一環として、新たなまちのCIを制定し、町のイメージアップを図るため、一般公募し選考委員会で協議した結果「ひまわり」に決定しました。



選定理由

ひまわりは、真夏の太陽に向かって力強く咲くたくましい花であり、朝日の太陽に似た頭花は大輪で、朝日を浴びて咲くひまわりのように、朝日町も未来へ大きく輝き、明るく健やかな町であるようにとの願いと、未来を担う子供たちを象徴するにふさわしい花である事、さらには、花言葉の「敬慕」から、進む高齢化・核家族化にあって、感謝の心と思いやりにあふれた心を持ち、すべての町民の方々に安らぎを与えられる町にとの願いを込めて選定されました。

(平成6年10月7日、町制40周年記念式典にて発表)

◆シンボルマーク

平成6年、町制施行40周年記念事業の一環として、新たなまちのCIを制定し、町のイメージアップを図るため、一般公募をし選考委員会で協議した結果決定しました。



選定理由

「八王子祭りの炎とASAHIのAをモチーフに“イキイキ朝日”を表現しているという事で選定されました。

(平成6年10月7日、町制40周年記念式典にて発表)

◆イメージキャラクター「アーミン」

平成6年、町制施行40周年記念事業の一環として、新たなまちのCIを制定し、町のイメージアップを図るため、名前を一般公募をし選考委員会で協議した結果決定しました。



選定理由

朝日・明るいのア、三重・未来のミ「未来へ大きく羽ばたく子供達を象徴する」キャラクターとしての意味を含め決定されました。

また、フランス語で(ami, amie)=友人、恋人の意味があります。

(平成6年10月7日、町制40周年記念式典にて発表)

◆町民憲章

平成6年、町制施行40周年記念事業の一環として、新たなまちのCIを制定し、町のイメージアップを図るため、町民公募を参考として選考委員会で協議し決定しました。

(平成6年10月7日、町制40周年記念式典にて発表)

1. 私たちは、自然を愛し、健やかに暮らせる町をつくります。
2. 私たちは、福祉の行きとどいた、安らぎのある町をつくります。
3. 私たちは、歴史と伝統を大切にし、文化の香りがかい町をつくります。
4. 私たちは、青少年に夢を与え、明るく、たくましく育てる町をつくります。
5. 私たちは、差別のない、思いやりのある国際社会に通じる町をつくります。

選定理念:私たちは、朝日町民であることに誇りと責任を持ち、緑溢れる自然を守り、文化と伝統を継承し、豊かな未来と明るく住みよい町を目指して、この憲章を定めました。

◆モニュメント



平成4年、国道1号縄生交差点改良工事に伴い、景観整備事業の一環で建設されました。

農業と工業と商業の発展を昇る太陽にイメージしたシンボルタワーです。

■ 町の歌

◆イメージソング「愛のひだまり」

作曲・補作詩:伴 良一

唄:秋山 真名美、横手 由紀子

- 1 青空まぶしい キャンバスは
夢色模様が よく似合う
手と手をかさねて 羽ばたけば
勇気と希望の ハーモニー
愛のひだまり 人から人へ
いつもステキな ドラマが始まる
笑顔キラキラ この街が好き 好き
 - 2 四季をいろどる フォトグラフ
優しく抱かれて 透き通る
旅から旅への 鳥たちも
やすらぎベッドで ひとやすみ
愛のひだまり 僕から君へ
緑豊かな 心の故郷
朝日キラキラ この街が好き 好き
 - 3 心ときめく 出会いには
夜空の星さえ 踊りだす
大地の恵みに 包まれて
命と命の コンサート
愛のひだまり 今日から明日
アナタと私 虹のかけはし
未来へキラキラ この街が好き 好き
- (町制施行40周年記念事業に向け、歌詞を募集し、いなべ市(旧北勢町)のシンガーソングライターに作曲を依頼し作成。

(平成5年10月26日完成)



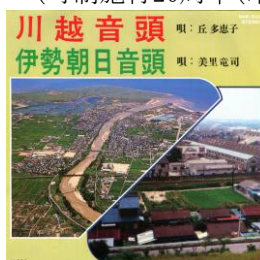
◆伊勢朝日音頭

作詩:榎戸 孝雄 作・編曲:桜井 稔

唄:美里 竜司

- 1 ハァー 町は町でも日の出の町よ アヨイヨイヨイ
ほんにその名も伊勢朝日
花の御在所岳あの大空へ
夢もひろがる意気の町 ソレ
*揃う花笠にぎやかにドンドン ドントネ 伊勢朝日
- 2 ハァー 川はきれいな朝明の川よ アヨイヨイヨイ
春は桜の散らし染め
夏は涼しい水音瀬音
恋の蛍が灯をともし ソレ
*繰り返し
- 3 ハァー 学者守部は朝日町の生まれ アヨイヨイヨイ
希望抱く子にやいい手本
やろうよやりましょ負けないように
ここは文化の華の町 ソレ
*繰り返し
- 4 ハァー 広い平野に稲穂はみのる アヨイヨイヨイ
山にや蜜柑の花が咲く
若い町だよ工場の町よ
汗もうれしい実を結ぶ ソレ
*繰り返し
- 5 ハァー 岡の上には鎮守宮よ アヨイヨイヨイ
お家繁昌の 守り神
夏の火祭り楽しじゃないか
はずむ景気が音頭とる ソレ
*繰り返し
- 6 ハァー 広い平野に時報がひびく アヨイヨイヨイ
あれは東芝三重工場
励む楽しさあふれる若さ
恋も芽生える 夢の町 ソレ
*繰り返し(6番はレコードに収録されていません)

(町制施行20周年(昭和49年)記念事業にて作成)



■ 祭り・イベント

◆福祉感謝祭



福祉活動、ボランティア活動に感謝するイベントで、町制施行40記念事業を機に毎年開催されます。

模擬店・ゲーム・抽選会などで賑わいます。

(開催日:3月、第2日曜日)

◆八王子祭り



「たいまつ祭」「はだか祭」とも呼ばれ町の無形民俗文化財に指定されています。

クライマックスでの火の付いた藁で叩き合う光景は迫力満点で、毎年、小向地区にて開催されます。

(開催日:8月13日)